

科目名称(Course Title)				担当教員 (Instructor)	
ソーシャルデザイン				谷口 知弘	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	3年次	講義	無	科目等履修・聴講
授業の概要(Course Description)					
<p>ソーシャルデザインは、対話を大切にしたデザインプロセスから笑顔で暮らせる持続可能な地域社会を創る新しい理論と方法である。市民一人ひとりの多様な想像力と創造力を信じ育む未来創造のデザインプロセスを、事例から講究し体験的に学ぶ。</p> <p>本講義においては、少子高齢化・人口縮小社会において危機的な問題状況におかれる「ローカル」の動きに注目する。ローカルで展開されるソーシャルデザインを通して、経済の物差しで幸せを測ってきた経済至上主義から脱皮し、家族やコミュニティ、平等性や精神性、自然環境と関わりなどを重視するオルタナティブな物差しとしての「幸福度」についても検討する。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<ul style="list-style-type: none"> ・「ソーシャルデザイン」の理論と方法について、その意味と価値を理解する。 ・「ソーシャルデザイン」の考え方を援用した地域社会の問題解決や未来創造の提案ができる。 					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	導入～ガイダンスと問題提起				
第 2 回	第1部 「ソーシャルデザイン」とは ①まちづくりの系譜とソーシャルデザイン				
第 3 回	②デザイン思考とソーシャルデザイン				
第 4 回	③理解を深めるワークショップ「ソーシャルデザイン×地域社会づくりの魅力と課題」				
第 5 回	第2部 ソーシャルデザインの手法を学ぶ ①ソーシャルデザインとワークショップ-1～集合地とイノベーション				
第 6 回	②ソーシャルデザインとワークショップ-2～対話とデザインプロセス				
第 7 回	第3部 地域社会の課題とソーシャルデザイン ①教育・文化とソーシャルデザイン				
第 8 回	②観光とソーシャルデザイン				
第 9 回	③健康とソーシャルデザイン				
第 10 回	④住民自治とソーシャルデザイン				
第 11 回	⑤理解を深めるワークショップ「地域社会の課題とソーシャルデザインを考える」				
第 12 回	第4部 「ローカル」におけるソーシャルデザインの取り組み ①事例調査報告とディスカッション-1				
第 13 回	②事例調査報告とディスカッション-2				
第 14 回	③事例調査報告とディスカッション-3				
第 15 回	④理解を深めるワークショップ「ローカルとソーシャルデザインを考える」＋まとめ				

授業時間外学習 (Supplementary Activities)	
<p>予習：各回のテーマについて、文献やインターネットによる調査、自身の関心を整理するなどあらかじめ学習しておくこと。</p> <p>復習：講義で得た気づきや成果をレポートにまとめること。</p>	
成績評価の方法と基準 (Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
クラスへの貢献 (50%) 期末レポート (50%)	秀：適切な課題を設定し、独創的且つ実現性の高い課題解決策を提示できている。 優：適切な課題を設定し、すぐれた課題解決策を提示できている。 良：課題を設定し、一応の課題解決策を提示できている 可：課題設定と解決策の提示が、いずれも最低限の水準を満たしている。 不可：課題設定や解決策の提示が水準に達していない。
テキスト (Textbook)	特になし
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	講義で配布するレジюмеで指示する
備考 (Other Information)	・3分の1以上 (6回以上) の欠席は、単位不可とする
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	taniguchi-tomohiro@fukuchiyama.ac.jp (谷口)